

いま、
日本に
貧困がある
ということ。

2010.

11.15.

月曜日

15:10 ~ 18:20

関西学院大学上ヶ原キャンパス
図書館ホール

一般公開・参加無料

貧困の連鎖を
断つために

—— 人権教育を通じて何ができるのか？ ——

2010年度
人権教育研究室 研究部会 第2回 公開研究会

基調報告

「子どもの貧困と学校の役割 ~ 反貧困学習を通して」

大阪府立西成高等学校 教諭 肥下 彰男

トークセッション

トーカー 大阪府立西成高等学校 教諭 肥下 彰男

有限会社ビッグイシュー日本 土田 朋水

関西学院大学人間福祉学部 川村 暁雄

コーディネーター 関西学院大学社会学部 阿部 潔

お問い合わせ

関西学院大学 人権教育研究室

Tel. 0798-54-6720

E-mail. masahi@kwansei.ac.jp



いま、
日本に
貧困がある
ということ。

貧困の連鎖を

— 人権教育を通じて何ができるのか? —

断つために



現代の日本が抱えるさまざまな格差は、もはや
深刻な「貧困」問題にまで発展してしまった。

「貧困」とは、人々が「健康で文化的な
最低限度の生活」（日本国憲法第 25 条）を
保障されないという意味で、
基本的な人権を侵害される事態そのものである。

「豊かな社会」と言われて久しい日本において
「貧困」が着実に広がりつつある現実から、
私たちは目を背けてはならない。

今回の研究会では、格差の連鎖を断つことを
学校のミッションとして掲げる
大阪府立西成高等学校 肥下 彰男教諭から
様々な社会背景をもつ生徒たちへの
「反貧困学習」の実践を報告していただく。
それを受けて、現代における「貧困」に
関心を持つ研究者／実務者を交えた
トークセッションの場を設ける。

差別、偏見、無理解によって「貧困」が解消されることなく
再生産され、多くの人々にとってそこから抜け出すことが
困難な状況が生まれている。

そうした「貧困の連鎖」を断ち切るために、人権教育には
どのような取り組みが求められているのか。
「貧困」をめぐる厳しい現実を真正面から見据えたうえで、
教育に突きつけられた課題について考える。

2010.
11.15.
月曜日

15:10~18:20

関西学院大学上ヶ原キャンパス
図書館ホール

一般公開・参加無料

◆トークセッション開催時には
図書館ホール前で販売員が
『ビッグイシュー』を
販売します。

◆生協書籍部にて肥下 彰男氏の
著書など
関連図書コーナーを
設けます。